

第5次総合計画基本計画 中間総括評価表【施策編】

施策主管課	保健福祉総務課	総合計画記載頁	120ページ
-------	---------	---------	--------

政策の柱	I 市民の安全で健康な笑顔あふれる暮らしを支えるために	政策名 (基本施策名)	5 都市の福祉力を高める	施策名	① 市民の福祉活動への参画促進
------	-----------------------------	----------------	--------------	-----	-----------------

1 施策の取組状況

主要な取組内容	施策指標の実績とH24末の見通し	指標の達成率	施策指標等 (最上段が、総合計画に基づく指標)	単位	指標の数値(上段:目標値, 下段:実績値)						達成率
					H19 基準年	H20 実績	H21 実績	H22 実績	H23 見込み	H24 見込み	H22 H24見通し
◆市民の自主的かつ積極的な福祉活動を促進するため、ボランティア養成講座を開催、また活動等に関する情報提供・相談調整を行っている。 ◆市民意識の高揚を図るため、福祉の祭典を開催し、福祉活動等の周知や啓発を行っている。	◆ボランティアセンターの登録団体数は、減少した年もあったが、総合的に目標達成に向けて増加傾向にある。 ⇒H24末は、目標値の増加数と同様の伸びが期待できるため目標達成の見込み。 ◆ボランティアセンター相談・調整件数については、増減を繰り返しているが、H19比では、増加傾向にある。 ⇒東日本大震災後の市民のボランティア活動への関心の高さから増加を見込んでおり、目標達成の見通し。 ◆市民福祉の祭典参加者数は、増加傾向だが目標値と実績に差がある。 ⇒事業内容等の工夫を図ることで今後も増加すると見込むが、H24末の目標達成は難しい。	99.4%	ボランティアセンターの登録団体数	団体	/	167	168	169	170	171	99.4%
			ボランティアセンターの相談・調整件数	件	164	165	163	170	171	172	100.6%
			市民福祉の祭典参加者数	人	/	10,200	11,900	13,600	15,300	17,000	58.8%
					8,500	8,800	9,500	10,000	11,000	12,000	70.6%
課題	◆ボランティアセンターの登録団体数や相談・調整件数の増加傾向から活動に対する関心度・認知度が高まりつつあるが、ボランティア育成や需要と供給のマッチングに課題がある。 ◆福祉のまちづくり事業(2号表彰)の表彰募集に対する応募件数が伸び悩んでいる。 ◆福祉の祭典参加者数について、目標達成に向けた参加者数の増加が課題となっている。		市民意識調査(重要度・満足度)			H20	H21	H22			
						重要度	62.1	63.6	64.0		%
						満足度	25.0	21.3	17.3		%

2 重点事業の進捗状況

事業名	スケジュール		事業の進捗状況とH24末の見通し	課題
	前期	後期		

3 施策を構成する事務事業の活動指標

No.	事業名	対象者	開始年度	活動指標等	単位	指標の数値(上段:目標値, 下段:実績値)			
						H20 実績	H21 実績	H22 実績	H23
再掲	やさしさをはぐくむ福祉のまちづくり事業	すべての市民	H13	表彰の募集に対する応募件数	件	30	30	30	30
						16	17	18	
再掲	市民福祉の祭典	すべての市民	H19	参加者数	人	10,200	11,900	13,600	15,300
						8,800	9,500	10,000	
再掲	こころのユニバーサルデザイン推進事業	すべての市民	H20	障がい者シンボルマーク等認知度	%	35	37	40	43
						34.8	37.6	41.9	

第5次総合計画基本計画 中間総括評価表【施策編】

施策主管課	保健福祉総務課	総合計画記載頁	120ページ
-------	---------	---------	--------

政策の柱	I 市民の安全で健康な笑顔あふれる暮らしを支えるために	政策名 (基本施策名)	5 都市の福祉力を高める	施策名	② 保健・福祉サービスの総合化の推進
------	-----------------------------	----------------	--------------	-----	--------------------

1 施策の取組状況

主要な取組内容	施策指標の実績とH24末の見通し	指標の達成率	施策指標等 (最上段が、総合計画に基づく指標)	単位	指標の数値(上段:目標値, 下段:実績値)						達成率
					H19	H20	H21	H22	H23	H24	
					基準年	実績	実績	実績	見込み	見込み	
◆保健・福祉サービスの相談支援体制の充実のため、身近な場所である地区市民センター等を拠点として、保健と福祉の総合相談に取り組んでいる。 ◆市民が必要とする様々な保健・福祉サービスの情報を提供するため、保健と福祉のホームページの充実等に努めている。	◆地区における保健・福祉の総合相談取扱い件数は年々増加し、H19年比で、約20%の増加となっている。 ⇒今後も同様の傾向が続くと見通していることから、目標を達成することができる見込である。	93.2%	保健・福祉総合相談取扱い件数	件		35,000	45,279	46,637	48,035	49,476	93.2%
					37,611	34,086	42,434	46,107	48,000	49,000	99.0%
課題 ◆保健福祉サービスの提供体制の充実については、少子高齢化の進行、経済不況等の社会状況の変化による複雑多岐な相談を適切な支援につなげることが課題となっている。 ◆保健・福祉サービスの情報提供については、市民が求める情報を適時・的確に提供することが課題となっている。											
			市民意識調査(重要度・満足度)		重要度	70.0	71.1	71.8			%
					満足度	28.8	24.2	28.2			%

2 重点事業の進捗状況

事業名	スケジュール		事業の進捗状況とH24末の見通し	課題
	前期	後期		
地域保健・福祉体制の充実		➔	◆保健・福祉に関する総合的なサービスである保健・福祉の総合相談において、取扱い件数は年々増加しており、住み慣れた地域での保健福祉の相談・サービスの利用が、市民生活に定着してきている。 ⇒H24に向け、保健・福祉に関する総合的なサービスを、市民が身近な場所で利用できるよう、地域保健・福祉体制の充実を図る。	◆今後、長引く経済不況、震災の影響による生活不安、複雑な家庭環境による複数の問題を抱える人の相談が増加することが予想される。虐待、引きこもり等潜在的な要支援者の対応も重要な課題である。

3 施策を構成する事務事業の活動指標

No.	事業名	対象者	開始年度	活動指標等	単位	指標の数値(上段:目標値, 下段:実績値)			
						H20	H21	H22	H23
						実績	実績	実績	
1	保健福祉総合相談業務	全市民	H10	本庁舎における相談件数(件)	回	7,500	7,500	7,500	7,500
						6,793	8,875	7,041	
2	苦情解決事業	福祉サービス利用者	H15	事例検討会回数(回)	回	1	1	1	1
						1	1	1	

第5次総合計画基本計画 中間総括評価表【施策編】

政策の柱	I 市民の安全で健康な笑顔あふれる暮らしを支えるために	政策名 (基本施策名)	5 都市の福祉力を高める	施策名	③ ユニバーサルデザインの推進
------	-----------------------------	----------------	--------------	-----	-----------------

1 施策の取組状況

主要な取組内容	施策指標の実績とH24末の見通し	指標の達成率	施策指標等 (最上段が、総合計画に基づく指標)	単位	指標の数値(上段:目標値, 下段:実績値)						達成率
					H19	H20	H21	H22	H23	H24	
					基準年	実績	実績	実績	見込み	見込み	
◆ハード面については、公共建築物のバリアフリー化を推進するため、計画的に整備を進めている。 ◆ソフト面については、障がい者等シンボルマークの認知度向上のため、広報紙・HPへ掲載するほかポスターやカレンダーを配布し周知を図っている。	◆公共建築物のバリアフリー化施設の割合については、H19年比で微増となっている。 ⇒今後も、着実な整備の推進により、指標の上昇は見込めるものの、目標達成は難しい。 ◆障がい者等シンボルマーク認知度については、増加傾向にある。 ⇒今後も継続して周知を図ることから、目標達成を見込んでいる。	81.0%	公共建築物のバリアフリー化施設の割合	%	58.7	59.3	60.6	60.6	63	66	88.2%
			障がい者等シンボルマーク認知度	%	-	34.8	37.6	41.9	43	45	99.6%
			市民福祉の祭典	人	8,500	8,800	9,500	10,000	11,000	12,000	70.6%
			市民意識調査(重要度・満足度)								
課題	◆公共建築物のバリアフリー化については、進捗状況の遅れが課題となっている。 ◆障がい者等シンボルマークの認知度については、マークによる認知度に偏りがある。 ◆福祉のまちづくり事業(2号表彰)の表彰募集に対する応募件数の伸び悩みについて課題がある。 ◆福祉の祭典参加者数について、目標達成に向けた参加者数の増加が課題となっている。 ◆民間の公共的施設整備については、申請件数の伸び悩みが課題である。										

2 重点事業の進捗状況

事業名	スケジュール		事業の進捗状況とH24末の見通し	課題
	前期	後期		
こころのユニバーサルデザインの推進		→	◆障がい者等シンボルマークの周知を行うことで年々認知度は向上しているが、マークによる認知度に偏りがある。 ⇒ H24に向け、まんべんなくマークの周知を図り、マークによる認知度の差が小さくなることで、全体の認知度が向上する見通し。 ◆福祉の祭典の周知や参加団体の配置等の工夫を図ることで参加者数は増加傾向にあるが、会場のキャパシティからこれ以上参加団体を増やすことが困難な状況である。 ⇒ 事業内容や配置等の工夫により今後も増加を見込むが、目標達成は難しい。	◆障がい者等シンボルマークによる認知度の偏りの格差については、周知方法の工夫が必要である。 ◆福祉の祭典参加者数について、目標達成に向けた参加者数の増加が課題となっている。

3 施策を構成する事務事業の活動指標

No.	事業名	対象者	開始年度	活動指標等	単位	指標の数値(上段:目標値, 下段:実績値)			
						H20	H21	H22	H23
						実績	実績	実績	
1	こころのユニバーサルデザイン推進事業	すべての市民	H20	障がい者シンボルマーク等認知度	%	35	37	40	43
2	やさしさをはぐくむ福祉のまちづくり事業	すべての市民	H13	表彰の募集に対する応募件数	件	30	30	30	30
3	市民福祉の祭典	すべての市民	H19	参加者数	人	10,200	11,900	13,600	15,300
4	やさしさをはぐくむ福祉のまちづくり公共的施設整備費補助金	本市区域内で公共的施設のバリアフリー整備をする事業者等	H12	補助対象工事件数	件	7	8	9	10

3 施策を構成する事務事業の活動指標

No.	事業名	対象者	開始年度	活動指標等	単位	指標の数値（上段：目標値、下段：実績値）			
						H20	H21	H22	H23
						実績	実績	実績	
5	障がい者福祉施設整備費補助金	社会福祉法人	H8	補助交付件数	件	5	7	2	2
						4	7	9	
6	障がい者福祉施設小規模整備費補助金	社会福祉法人	H8	補助交付件数	件	1	1	1	1
						0	1	0	

第5次総合計画基本計画 中間総括評価表【施策編】

政策の柱	I 市民の安全で健康な笑顔あふれる暮らしを支えるために	政策名 (基本施策名)	5 都市の福祉力を高める	施策名	⑤ 保健・福祉サービス基盤と支援機能の充実
------	-----------------------------	----------------	--------------	-----	-----------------------

1 施策の取組状況

主要な取組内容	施策指標の実績とH24末の見通し	指標の達成率	施策指標等 (最上段が、総合計画に基づく指標)	単位	指標の数値(上段:目標値, 下段:実績値)						達成率
					H19	H20	H21	H22	H23	H24	
					基準年	実績	実績	実績	見込み	見込み	
◆地域における新たなニーズや福祉課題などに迅速かつ適切に対応できる地域社会を構築するため、様々な地域資源が連携するネットワークづくりに取り組んでいる。 ◆住み慣れた地域での自立を促進するため、充実した保健・福祉サービスの提供に努めている。 ◆市民の保健・福祉ニーズに迅速かつきめ細かに対応するため、総合相談機能及び調整機能の充実を図っている。	◆総合計画に掲げた活動指標について、災害時要援護者登録数は増えているものの、増加の速度は緩やかになっており、目標との開きが大きくなってきている。 ⇒H24末の状況としては、今後も同様の傾向が続くと見通していることから、目標の達成は難しい。	60.3%	災害時要援護者支援事業の要援護者登録数	人	7,091	6,700	8,400	10,100	11,800	13,500	60.3%
			保健・福祉総合相談取扱い件数	件	37,611	35,000	45,279	46,637	48,035	49,476	93.2%
課題 ◆災害時要援護者支援制度については、市内全39地区における「地区支援班」の早期設置や、実効性のある制度となるよう、「要援護者避難訓練」の実施を促進することが課題となっている。 ◆在宅福祉サービスの充実については、サービスの更なる周知により、利用者を掘り起こすことが課題となっている。 ◆地域保健・福祉体制の充実については、複雑多岐な相談が増加していることから、専門性の高い相談機能の充実を図ることが重要な課題となっている。 ◆生活困窮世帯への支援の充実については、長引く景気の低迷により、生活保護受給者の増加が課題となっている。											
	市民意識調査(重要度・満足度)										
						H20	H21	H22			
					重要度	69.7	70.1	71.8			%
					満足度	19.5	19.0	18.2			%

2 重点事業の進捗状況

事業名	スケジュール		事業の進捗状況とH24末の見通し	課題
	前期	後期		
在宅福祉サービスの充実	→		◆ひとり暮らし高齢者等への支援として、緊急通報システムの設置を推進しており、利用台数は年々増加している。 ⇒ H24に向け、事業の更なる周知を行うことで、利用台数は増加する見通し。 ◆介護保険の認定を受けている高齢者等への支援として、高齢者等ホームサポート事業を推進しており、利用登録者数は徐々に増加している。 ⇒ H24に向け、事業の更なる周知を行うことで、利用登録者数は増加する見通し。	◆在宅福祉サービスの充実に向けた、高齢者や障がい者などへの支援における課題については、サービスの更なる周知により、利用者を掘り起こすことが必要になっている。
地域保健・福祉体制の充実	→		◆保健・福祉に関する総合的なサービスである保健・福祉の総合相談において、取扱い件数は年々増加しており、住み慣れた地域での保健福祉の相談・サービスの利用が、市民生活に定着してきている。 ⇒ H24に向け、保健・福祉に関する総合的なサービスを、市民が身近な場所で利用できるよう、地域保健・福祉体制の充実を図る。	◆今後、長引く経済不況、震災の影響による生活不安、複雑な家庭環境による複数の問題を抱える人の相談が増加することが予想される。虐待、引きこもり等潜在的な要支援者の対応も重要な課題である。

3 施策を構成する事務事業の活動指標

No.	事業名	対象者	開始年度	活動指標等	単位	指標の数値(上段:目標値, 下段:実績値)			
						H20	H21	H22	H23
						実績	実績	実績	
1	災害時要援護者支援事業	高齢者や障がい者などの要援護者	H19	要援護者登録数(人)	人	6,700	8,400	10,100	11,800
						7,959	8,056	8,138	
2	地域福祉コーディネーターネットワーク推進事業	地域住民・団体、事業者、行政機関などの地域資源	H20	地域福祉コーディネーターネットワーク会議の開催地区数	地区	0	3	8	7
						0	5	2	
3	民生委員児童委員活動費費用弁償	民生委員児童委員(791名)	S28	民生委員児童委員の相談・支援件数等活動件数	件	98,000	98,000	98,000	98,000
						99,644	99,238	99,549	

3 施策を構成する事務事業の活動指標

No.	事業名	対象者	開始年度	活動指標等	単位	指標の数値（上段：目標値，下段：実績値）			
						H20	H21	H22	H23
						実績	実績	実績	
4	成年後見制度	判断能力が不十分な認知症高齢者、もしくはその親族等	H14	成年後見制度に係る周知回数	回	30	30	30	30
						28	25	39	
5	ひとり暮らし高齢者等の安心ネットワークシステム	65歳以上のひとり暮らし高齢者	H15	見守り活動会議を開催した単位自治会の数	会	530	660	794	794
						398	445	481	
6	高齢者虐待防止事業	高齢者、養護者等	H18	高齢者虐待に関する相談件数	件	60	65	70	70
						62	73	70	
7	緊急通報システム	在宅のおおむね65歳以上の虚弱なひとり暮らし等高齢者、在宅のひとり暮らし等重度身体障がい者など	H元	緊急通報装置年間延べ利用台数	台	1,123	1,131	1,137	1,155
						1,000	1,039	1,133	
8	民生委員活動	栃木県民生委員児童委員協議会、栃木県都市民生事業連絡協議会	S29	地区会長・副会長研修出席者数	人	103	103	103	103
						92	79	36	
9	民生委員研修会負担金	民生委員児童委員（中堅、新任）	H14	中堅民生委員児童委員研修会出席者数	人	117	117	117	117
						115	112	78	
10	民生委員児童委員協議会補助金	宇都宮市民生委員児童委員協議会	S23	民生委員児童委員全体研修会出席者	人	774	774	774	791
						761	760	620	
11	地区民生委員協議会活動費負担金	地区民生委員児童委員協議会（39地区）	S28	各地区民生委員児童委員協議会（定例会）開催回数	回	468	468	468	468
						452	453	453	
12	民生委員推薦会事務費	宇都宮市民生委員推薦会委員	H9	民生委員推薦会開催回数	回	2	2	2	2
						2	1	2	
13	社会を明るくする運動	一般市民	S57	社会を明るくする運動参加者	人	2,000	2,000	2,000	2,000
						2,000	2,000	2,000	
14	宇都宮保護区保護司会負担金	宇都宮保護区保護司会	S45	分区社明行事実施回数	回	80	80	80	80
						74	74	73	
15	中国残留邦人引揚者等慰問金	引揚者、一時帰国者、再帰国者	S63	中国残留邦人引揚者等慰問金支給件数	件	1	1	1	1
						0	0	0	
16	宇都宮更生保護女性会負担金	宇都宮更生保護女性会	S31	ミ二集会・子育て支援活動参加人数	人	1,200	1,200	1,200	1,200
						1,332	748	803	
17	産休等代替職員費補助金	救護施設等調査（社会福祉法人協会）	H12	施設からの任用承認申請に基づく承認決定件数	件	1	1	1	1
						0	0	0	

3 施策を構成する事務事業の活動指標

No.	事業名	対象者	開始年度	活動指標等	単位	指標の数値(上段:目標値, 下段:実績値)			
						H20	H21	H22	H23
						実績	実績	実績	見込み
18	災害救助交付金	罹災者	S28	—		—	—	—	—
19	訪問指導事業	65歳以上の市内居住者で、特定高齢者に準ずる者のうち、介護予防の観点から訪問指導の必要がある者	S59	訪問指導実件数(一般)	件	150	150	150	150
20	高齢者短期宿泊事業	市内に住所を有するおむね65歳以上の介護保険対象外の者	H12	短期宿泊利用者数	人	50	50	50	50
21	高齢者等ホームサポート事業	前年の所得税が非課税の世帯のうち、65歳以上で介護保険の認定を受けている高齢者、障がい者、又はこれらに準ずる者で構成された世帯	H14	延べ利用登録者数	人	600	618	637	656
22	介護慰労金支給事業	65歳以上で、介護保険の要介護4・5の認定を受けた高齢者を、申請の前月からさかのぼって1年のうち、介護サービスを6か月以上継続して受給せずに在宅で介護している家族で、なおかつ市域に滞給のない者	H12	受給者数	人	40	23	23	23
23	訪問介護員養成研修の実施	介護訪問員(ホームヘルパー)として従事しようとする個人	H11	受講修了者数	人	40	40	40	40
24	ちとせ・松原再整備事業	入所者及び入所希望者(養護老人ホーム:老人相属者、ケアハウス:自宅での生活が困難な60歳以上の者)	H20	ちとせ寮及び松原荘入所者数	人	160	160	160	0
						95	95	84	

3 施策を構成する事務事業の活動指標

No.	事業名	対象者	開始年度	活動指標等	単位	指標の数値(上段:目標値,下段:実績値)			
						H20	H21	H22	H23
						実績	実績	実績	
25	軽費老人ホーム事務費補助金	宇都宮市内で軽費老人ホーム(ケアハウス)を運営する社会福祉法人	H8	年度末時点における入所者数	人	390	440	440	540
						380	378	421	
再掲	認知症対策事業	市民、関係機関	H20	認知症サポーター養成数	人	2,000	4,000	4,000	5,000
						2,026	2,819	4,496	